

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語
科目基礎情報						
科目番号	0168		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子システム工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『1冊目の中国語会話クラス』白水社					
担当教員	詹 秀娟					
到達目標						
(科目コード：機械 10540電気電子 20540電気制御 30540物質 40540環境 50540, 英語名：Chinese) この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。中国語の基本的な文法項目と簡単な日常会話を身につけ、個人の日中交流の基礎を作る。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
中国語の発音記号である「ピンイン」を習得する。	中国語の発音記号である「ピンイン」を十分に習得している。		中国語の発音記号である「ピンイン」を習得している。		中国語の発音記号である「ピンイン」を概ね習得している。	中国語の発音記号である「ピンイン」を十分に習得していない。
中国語簡体字の読み書きが出来る。	中国語簡体字の読み書きが十分に出来る。		中国語簡体字の読み書きが出来る。		中国語簡体字の読み書きが概ね出来る。	中国語簡体字の読み書きが出来ていない。
基本的な文法項目と簡単な日常会話を習得する。	基本的な文法項目と簡単な日常会話が十分に習得できている。		基本的な文法項目と簡単な日常会話が習得できている。		基本的な文法項目と簡単な日常会話が概ね習得できている。	基本的な文法項目と簡単な日常会話が習得できていない。
辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来る。	辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが十分に出来る。		辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来る。		辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが概ね出来る。	辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来ていない。
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	中国は、近年、産業・経済各方面において著しい成長が見られる。日本に近いようで遠い中国を知るには、この授業はその第一歩である。中国語の基本的な文法項目と簡単な日常会話を身につけ、個人の日中交流の基礎を作る。授業中、適宜に中国の文化と社会事情も紹介する。					
授業の進め方・方法						
注意点	語学の習得は、「聞く・話す・読む・書く」ことの積み重ねであり、予習と復習は不可欠である。本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。					
授業計画						
		週	授業内容			週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	中国語の特徴及び発音1			左記を理解する
		2週	発音2			左記を理解する
		3週	発音3			左記を理解する
		4週	発音4			左記を理解する
		5週	発音5			左記を理解する
		6週	発音複合練習 1			左記を理解する
		7週	第 1 課			左記を理解する
		8週	第 2 課			左記を理解する
	2ndQ	9週	会話練習			左記を理解する
		10週	第 3 課			左記を理解する
		11週	第 4 課			左記を理解する
		12週	会話練習			左記を理解する
		13週	第 5 課			左記を理解する
		14週	第 6 課及び復習			左記を理解する
		15週	復習			左記を理解する
		16週	期末試験 17週：試験解説と発展授業			
後期	3rdQ	1週	第 7 課			左記を理解する
		2週	第 8 課			左記を理解する
		3週	会話練習			左記を理解する
		4週	第 9 課			左記を理解する
		5週	第 1 0 課			左記を理解する
		6週	会話練習			左記を理解する
		7週	第 1 1 課			左記を理解する
		8週	第 1 2 課			左記を理解する
	4thQ	9週	会話練習			左記を理解する
		10週	中国ビデオ鑑賞			左記を理解する
		11週	第 1 3 課			左記を理解する
		12週	第 1 4 課			左記を理解する
		13週	第 1 5 課			左記を理解する
		14週	復習			左記を理解する

		15週	復習	左記を理解する		
		16週	期末試験 17週：試験解説と発展授業			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
評価割合						
		試験	受講状況・出席状況		合計	
総合評価割合		70	30		100	
基礎的能力		70	30		100	
専門的能力		0	0		0	
分野横断的能力		0	0		0	